

科目名	音楽表現演習Ⅰ		担当教員	明石 現・大澤 ちづる・井出 香里 福中 琴子・松井 直子		
			担当形態	クラス分け		
テキスト	「かんたんメソッド コードで弾きうたい」カワイ出版	単位数 授業形態	1単位	演習	開講時期	前期
<p>講義概要</p> <p>■到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピアノやギターによる伴奏を弾きながら、10曲以上の「こどものうた」を歌う表現技術が身に付く。 ・音楽理論の基礎的な知識（読譜、拍子、リズム、コードネームなど）について理解し、活用できる。 <p>■授業の概要</p> <p>保育の内容を理解し、展開するために必要な保育の表現技術の一つである歌唱およびピアノやギターを用いた弾き歌いの力量を高めることを目的として、少人数によるグループ授業を行う。「こどものうた」を知り、演奏することを通して、音楽を感じる心と豊かに表現する力を養う。グループ授業による歌唱や弾き歌いの技術習得、授業内での実技発表、音楽理論の筆記試験、弾き歌いの実技試験を実施する。</p> <p>■授業計画</p> <p>第1回 オリエンテーション 「こどものうた」と弾き歌い 第2回 英語音名、コードネームとは何か 第3回 単音伴奏による弾き歌いとリズム 第4回 単音伴奏による弾き歌いの発表とリズムパターン 第5回 メジャーコード基本形による弾き歌い① C, F, G 第6回 メジャーコード基本形による弾き歌い② D, E, A 第7回 メジャーコード基本形による弾き歌い③ B 第8回 音楽理論の基礎とリズム打ちの発表 第9回 歌唱およびメジャーコード基本形伴奏の発表 第10回 メジャーコード基本形による弾き歌い④ B♭ 第11回 音楽理論の筆記試験および解説 第12回 メジャーコードの伴奏パターンによる弾き歌い 第13回 メジャーコード基本形による弾き歌いの発表 第14回 学生と教職員によるコンサートの鑑賞 第15回 「こどものうた」弾き歌いの実技試験、まとめ</p> <p>■準備学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業前に、必ず実技の課題に関する自己練習をしておくこと。 ・終了した課題曲に関しても日常的に復習をして、レパートリーの蓄積をすること。 <p>■評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題曲の達成度・弾き歌いの実技試験 — 50% ・授業内発表 — 30% ・音楽理論の筆記試験 — 10% ・授業記録簿の記述 — 10% 						
参考文献	「こどものうた100」チャイルド社 「続こどものうた200」チャイルド社 「保育者・教師をめざす人、生まれ！みんなピアノだい好き！」全音楽譜出版社	特記事項	単位修得には10曲以上の課題曲達成が必要となる。継続的に自己練習を行うこと。 【課題等のフィードバック方法】 発表に対しては適宜コメントをする。			
卒業・免許状・資格との関連	幼稚園教諭免許状選択必修 保育士資格選択必修	幼	教科に関する科目			
		保	保育の表現技術			